※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	工芸入門	単位数	１単位	年次	2～4年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ガラス、プラスチック、漆、籐材、陶磁土、木材、金属等の作品制作を通して、美術工芸に関する基本的な内容と鑑賞の分野について学習します。
・サンドブラスター、彫刻刀、カッターナイフ、ハサミ等の基本機材、用具の活用技術を学ぶとともに、個々の感じ方や考え方を生かした創作活動を行いましょう。

2　学習の到達目標

美術工芸に関する幅広い活動を通して、美的工芸的体験を豊かにし、生涯にわたって美術工芸を愛好する心情を育てるとともに、美的感性を高め、自身の創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術工芸文化についての資質・能力を次のとおり育成する。

1　創造的な美術工芸の表現をするために必要な技能を身に付けるとともに、表現の意図に応じて、表現方法を工夫することができるようにする。
2　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、感性や想像力を働かせて、目的や機能、美しさ等から主題を生成し、創造的な表現の構想を練られるようにする。
3　美術工芸の創造活動の喜びを味わい、美術工芸文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術工芸の表現をするために必要な技能を身に付けるとともに、表現の意図に応じて、表現方法を工夫することができるようになる。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさ等から主題を生成し、創造的な表現の構想を練られるようになる。	多様な表現方法を経験することにより、美術工芸の創造活動の喜びを味わい、美術工芸文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする姿勢を育む。また、美術工芸作品等の表現の工夫や美術工芸文化等を理解し、その良さや美しさを創造的に味わうことができるようになる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月(10月)	オリエンテーション	・鉛筆でのｱｲﾃﾞｱｽｹｯﾁ ・ｶﾞﾗｽ本体への転写	a:身近なものをテーマに創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。 b:身近なものを見つめなおし、よさや美しさに気づき、感じ取ったことや考えたことなどを基に構想を練り、配置や構図を工夫して表現することができる。 c:鉛筆を使用した創造活動の喜びを味わい、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	プリント課題 制作課題	制作課題 作品鑑賞	鑑賞態度 鑑賞中の発言
5月～6月(11月～12月)	サンドブラスト加工	・サンドブラスター加工 ・ガラス本体への転写 ・ガラスのペーパーウェイト作成	a:サンドブラスト加工を用いて創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。 b:ペーパーウェイトの実用性と創造的な表現を調和するために完成や想像力を働かせて、創造的な表現の攻勢を練っている。 c:サンドブラスト加工による創造活動の喜びを味わい、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	プリント課題 制作課題	制作課題 作品鑑賞	鑑賞態度 鑑賞中の発言
7月～8月(12月～1月)	ストラップアクセサリー制作	・水彩色鉛筆の活用 ・水彩色鉛筆でのアイデアスケッチ ・積層色添によるストラップアクセサリー制作	a:水彩色鉛筆を用いた作品の美しさやよさに気づき、創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。 b:ストラップ作製の技能的工夫の中で完成された作品の形状や雰囲気を工夫して表現することができる。 c:水彩色鉛筆を活用した創造活動の喜びを味わい、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	プリント課題 制作課題	制作課題 作品鑑賞	鑑賞態度 鑑賞中の発言

※令和４年度以降入学生用

８月～９月(１月～２月)	木彫・塑造・籐工芸	・ペーパーナイフ作製 ・マネーバンカー作製 ・籐バスケット作製	a：木彫・塑造・籐工芸作品の美しさやよさに気づき、創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫している。 b：木彫・塑造・籐工芸作品のよさや美しさに気づき、感じ取ったことや考えたことなどを基に構想を練り、配置や構図を工夫して表現することができる。 c：木彫・塑造・籐工芸作品の作製をとおして創造活動の喜びを味わい、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	プリント課題 制作課題	制作課題 作品鑑賞	鑑賞態度 鑑賞中の発言

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度